

芸術家が慈善オークション 倉敷

倉敷市内外で活動する作家有志の東日本大震災チャリティーオークション「倉敷からの風」が、同市中央のギヤラリー「スペースみぎ」で行われている。写真。通信費などを差し引いて収益の6割を、国際医療ボランティアAMDA(岡山市)を通じて寄付する。11日まで。

震災から1年を迎えるのを前に、画家杉田修一さん(58)と倉敷市白楽町IIが「作家として何かできないか」と、



知り合いの作家らに呼び掛けた。

陶芸やガラス、木工、写真などの作家42人が

約120点を出品。杉田さんの水彩画をはじめ、ガラスの石川昌浩さん、早島町、禹兎窯の岡本暉生さん、倉敷市IIの酒器、ヒマワリ柄に染めたTシャツ、プリザーブドフラワー、帆布のパッチワークバッグ、木工のいすなど幅広い分野の作

品がずらりと並ぶ。

目当ての品に希望価格を付けて入札書を投じる方式で販売。杉田さんは「見応えある豪華な展示になった。作家たちが被災地を思う『風』を感じてほしい」と話している。

午前10時～午後6時(11日は午後5時まで)。(水嶋佑香)

復興への願い届けたい